



題字 小川 東州

JICA 社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6-1 ストークマンション札幌308号
TEL&FAX 011-736-2333 ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

支部総会が開催されました

6月28日(土)札幌サンプラザにおいて「平成20年度(社)日本産業カウンセラー協会北海道支部通常総会」が行われました。この日は青空が広がり初夏らしいお天気の中、多数の会員の皆様にご参加頂き、又本部より原康長専務理事、和田幸子常務理事をお迎えしての開催となりました。

本年度の通常総会は全3部構成で行われました。

【第1部 開会】にあたり、北海道支部桑原富美恵支部長より「今年3月末現在の北海道支部は344名の会員数になっており、支部は会員皆様の会であり、今後もより良い北海道支部を会員の皆様と作るため、実り多い総会になりますように」と開会の挨拶が始まり、続いて協会本部原専務理事、和田常務理事のご挨拶がありました。和田常務理事からは「会員の目的は①学ぶ、学習する②資格を生かす、実践する③指導するの3点。そして運営に携わることも大切。是非支部を支える活動にも参加をし、より会員皆様の支部になるよう期待しております」とのお言葉を頂きました。



和田常務理事



冒頭で挨拶する桑原支部長



講演中の原専務理事

様々の支部になるよう期待しております」とのお言葉を頂きました。

【第2部 講演】では、『産業カウンセラーの今後の展望』と題し3点について、原専務理事より講演をいただきました。

原専務理事は産業カウンセラー協会の為に、事務局長で協会の中心となり、協会をより発展させてくださった方でもあります。

今回の講演では、

①これからの課題

- ・活動の分野と基盤の拡大
- ・実践的な産業カウンセラーの育成

この二つの翼の均衡がとれて進んでいけることが大切である

②今後活動分野をどう拡げていくか

- ・メディアへの発信
- ・社会貢献活動の拡充として、ボランティア活動を重点的に位置づけていること
- ・本部から東京支部へ移行した事業である無料電話相談を常設し月に40件位の相談を受けている

③実践的なカウンセラーの育成

- ・育成制度の本格的な見直し（今の養成講座のあり方、資格のあり方）
- ・マネジメント講座の開設や、資格を取って定年になられた方を対象にしたチャレンジキャンパス制度の創設など

今後の協会としての新しい試みや方向性を話して頂きました。



熱心に検討されている総会の様子

【第3部通常総会】まず進行役の山村養成講座部長より定数の確認が行われ、平成20年度3月末登録会員数344名のうち、総会出席者34名、委任状提出者142名の計176名が出席となり、支部規定第16条に基づき正会員数の過半数（172名）を超える出席が確認され総会成立の報告がなされました。委任状の形式については協会のを踏襲していること。従来、議事録の事前配布をしていない理由などの説明がありました。続いて永井副支部長より第38回通常総会（本部総会）の報告がされました。その後支部規定に基づき、議長に桑原支部長が就任し、議事録署名人として新関るみ子さんと辻まゆみさんが指名されました。支部規程13条の2の報告事項、平成19年度の事業報告と収支決済報告（第38回通常総会にて承認済みの内容）について永井副支部長、二俣総務部長より説明があり、監事の大嶋さんより監査報告が行われました。続いて支部規程36条の2に基づき議案にはいりました。

平成20年度の事業計画（案）収支予算（案）が提示され、満場拍手にて承認となりました。

最後にその他として、今回会員の方から質問を頂いた内容で総会上で回答できなかった事柄への回答と、出席された方からの質問が挙手により行われた後、20年度北海道支部総会を閉会いたしました。皆様から寄せられた質問の内容としましては「遠隔地手当てについて」「最近の相談事業の入札について」「認定カウンセラーや他の試験について検討して欲しいこと」など沢山の質問や要望が寄せられました。会員皆さまの会である北海道支部は総会で承認を受けた内容を幹部会で審議執行し、運営協議会で承認を得ながら遂行していることを再度確認しました。



事業報告の永井副支部長

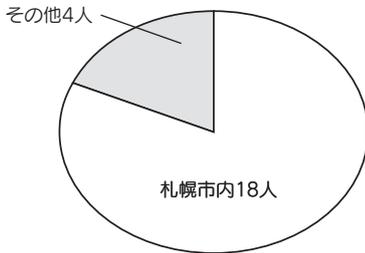
北海道支部は会員の皆さまの会であること「すずらん」などを通してより、皆様に理解していただけるように支部運営を進めて行きたいと思えます。

又今後の運営や支部活動の参考にさせて頂くためのアンケートを実施しました。アンケートの結果は次ページの様になっております。皆様の声を反映した支部運営のために十分生かして行きたいと思えます。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。是非来年は今年よりも多くの会員に参加していただき、もっと多くの声を反映した総会になればと期待しております。

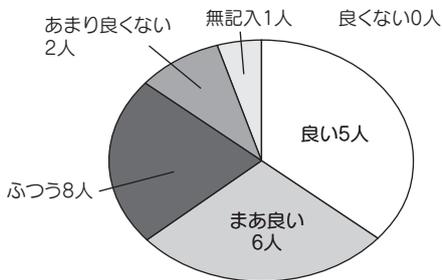
支部総会アンケート集計

平成20年度6月28日 開催（出席34 回答22）

1. お住まいについて



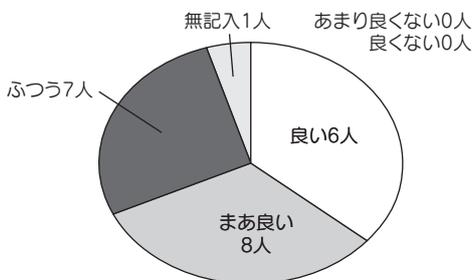
2. 通常総会の内容進行について



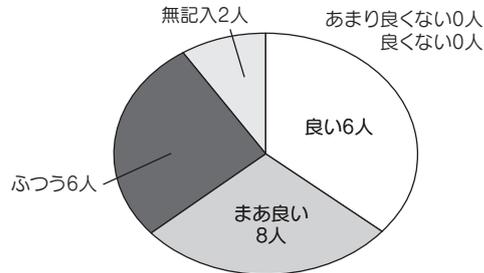
※理由（要望）

- ・もっとわかりやすい表現で報告してほしい
- ・もう少しゆっくり話してください

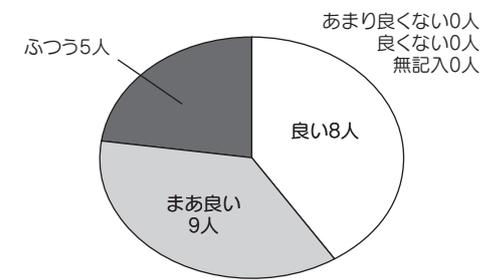
3. 平成19年度事業の取組状況について



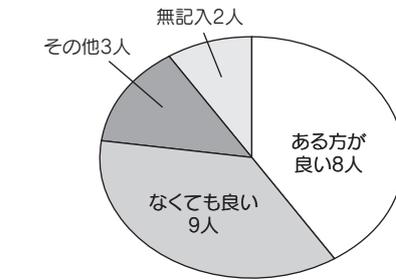
4. 平成20年度支部方針について



5. 平成20年度事業計画について



6. 懇親会について



※理由（要望）

- あるほうが良い（他は理由無記入）
- ・会員同士のコミュニケーションは必要
- ・情報交換の場になると思います

7. ご自身の支部の活動への参加についてどうお考えですか

- ・仕事に支障がない範囲で参加したいと思う
- ・時間があるので援助できればと思っています。
- ・各部の内容が不明の為、自分に何が出来るかわからない
- ・自分の意思で参加できるのか、誰かの推薦があるのかなど明確になっていると解りやすいし参加しやすいと思います。

8. 支部として今後取り組むべき課題など、何でも自由にお書きください

- ・産業界との連携など
- ・事業、役員などオープンにして欲しい
- ・通常総会の報告で話が早く理解しづらい部分がありました。

全国研究大会・中国大会に参加して

5月31日～6月1日全国研究大会中国大会が岡山市において開催されました。

北海道からも多くの会員の方に出席いただきました。ここではシンポジウムと分科会の様子をご紹介しますと思います。

—基調講演・シンポジウム—

去る5月31日・6月1日、晴れの国岡山市において開催された、産業カウンセリング第38回全国研究大会中国大会に参加してまいりました。大会初日の基調講演では、筑波大学特任教授・キャリア支援室長渡辺三枝子氏が「産業界との協働関係の深化を求めて」と題して、私たち産業カウンセラーが産業界に今まで以上に定着していくために、協働のための信頼関係の重要性、自ら働きかける積極性、現実検証できる能力（コミュニケーション能力）を高めるという、3つの

提言をいただき、翌日のシンポジウムでは、渡辺先生初め、(財)社会経済生産性本部メンタルヘルス研究所今井保次副所長、シャープ株式会社谷口信之取締役人事部長の活発な討議から、守秘義務は何のためにあるのかという実践的な話も交えて、お互いのミッションを確認しながらWell-beingの協働作業をしようと力強い言葉が聞かれました。



基調講演・シンポジウムの様子



分科会での二俣美幸さん

—分科会発表—

全国大会では、分科会での報告や意見交換ができることが魅力です。第5分科会では産業カウンセラー養成講座のあり方をテーマに、養成講座部の二俣美幸さんが「北海道支部における実技指導者育成の取り組みについて」と題して発表されました。二俣さんは、北海道の地域でより専門性の高い産業カウンセラーを養成して、地域社会に貢献できる養成講座でありたい。そのためには、実技指導者がしっかり育っていくことと、支えあう仕組み作りが必要であるとして、具体的な育成のシステムの実践報告をしました。パネルディスカッションにおいても北海道支部の活動について関心が高く、フロアーからの質問も多く寄せられました。

清 水 信 介 先 生 に 聞 く

「トポス心理療法オフィス」開設

養成講座をはじめ、研修会等で北海道支部では大変お世話になっております清水信介先生（北星学園大学教授）が支部事務所と同じビルの6Fに「トポス心理療法オフィス」を開設されました。開設されるにあたっての経緯や思い、北海道支部との関わりなどお聞きして参りました。



—— まず先生と支部との関わりからお聞きしたいのですが

平成8年度より養成講座に関わるようになり、さらに平成10年度からは養成講座を修了された方々の勉強会（現在のCST等の前身）にもタッチするようになり、最近ではそれらに加えて会員研修や審査研修等にも関わっています。

—— 先生には支部としても大変お世話になっている訳ですが、今回5月初旬より「トポス心理療法オフィス」を開設されたということで、そのお話をお聞きしたいと思います。オフィスの名前でもあります「トポス」とはどんな意味があるのでしょうか？

トポス（topos）はギリシャ語で「場所」を意味します。トポスという言葉は、最近では哲学者の中村雄二郎先生の著述などを通じて知られるようになってきました。トポスという言葉をお店の名前につけたのは、物理的な空間としての「場所」という意味のほかに、「存在根拠としての場所」「変容の場」という意味をもこめてのことです。

—— このオフィスを開設された経緯などをお聞きしたいのですが

このたび、私は定年を迎え、大学教員としての仕事はかなり軽減されました。そこで今後は臨床に専念したいという気持ちが大きいですね。これまでは臨床心理士を目指す大学院生などを育てる仕事に力を注いできましたが、その分自分自身が臨床を行う時間が少なくなっていました。もう一つの理由は、札幌圏には心の悩みや問題を抱える人々の相談にじっくり応じてくれるような機関が少ないと思うからです。そういった面で少しでも地域に貢献できたらと思っています。

—— 今回ずらん送付時にリーフレットを同封させていただきますが、これを見たどなたでも相談をすることが出来るのでしょうか

原則的に産業カウンセラー協会の会員の相談はお断りすることになると思います。理由は、会員の皆さんの場合、今後も研修や他の場面で関わりを持つことがあり、私がカウンセリングを担当すると多重関係が生じる可能性があるからです。もちろん、会員の方から相談申し込みをいただいた場合には、適切な機関やカウンセラーを紹介することはできます。また、会員のお友達やお知り合いの方の相談については喜んでお引き受けします。

—— 最後になりますが、先生は養成講座の時などに「ここはまだ入り口です」というお話をなさいます。産業カウンセラーとして今後どうしていったらよいかと悩んでいる人も多いと思います。何かアドバイスをいただけますか？

産業カウンセラーの仕事については、絶えず勉強を続けていく姿勢と自己研鑽が必要です。

具体的に言えば、自ら積極的に勉強の場を見つけていくこと。また本物に触れることも大切です。名のあるカウンセラーの著書や実践報告などを讀んだり、直にそういう先生の講演や講義などを聴いたりする機会をもつことを勧めます。自分だけでやっていると我流にならないように、上級のカウンセラーからスーパーヴィジョンを受けることも大切です。時には、自分が担当したケースを事例検討会などに提出して自分の考えを発表し、他の人の意見や見方を聞くこともよい勉強になります。産業カウンセラー養成講座のカリキュラムでは、面接実習などかなりの時間が割かれていますが、ケースを適切に理解するのに必要な臨床心理学、発達心理学、精神病理学などに関する理論や知識はあまり含まれていません。その辺りのことに関しては、各自が自発的に勉強して知識・理論を身につけていくことが望まれます。

—— 今日は短い時間でしたが、色々なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。



会員研修カウンセリングと ユング心理学(I)を受講して

6月10日(火)18:30~20:30かでの2・7において、会員研修「カウンセリングとユング心理学 (I)」が、北星学園大学教授の清水信介先生の講師で開催されました。当日は平日の夜にもかかわらず、3人掛けでも満席の大盛況でした。4回コースの第一回目で、ユング心理学の概論的な講義から始まりました。ユングはフロイトの垂流?程度にしか思っていなかった私には、まさに「目から鱗」の講義でした。垂流どころか、フロイトとは無意識に対する考え方が根本的に違うこと、個人の深層心理の奥にある人類共通の普遍的無意識、「自己治癒力」を司る自己元型の存在等、医師としての臨床体験から構築された理論であることを初めて知り、その偉大さに感動すら覚えました。また、仏法の九識論との共通性や響きあうところも感じられ、たいへん興味深く聞くことができました。2回目以降の講義がどんな展開になってくるか、今から楽しみでワクワクしています。

(堀 淳博)

No.02

レディネス通信

アマゾン.COMで購入した中古テキスト「心理療法入門・初心者のためのガイドブック」は、少々かび臭い。支部の会議室に篠原先生と10名の受講者が座るとかなり窮屈である。発言が活発になるほどに室温は上昇し、ジャケットを脱ぎ、汗を拭き拭きの状態となる。

上記の通り、学習環境としては「申し分ない」とは言い難い状況ですが、正直、皆真剣です。意見交換、質疑応答、援助側としての自身の体験・事例の披露が数多く飛び交いパワーと熱気に溢れています。

私の大事だと思っていることを一言。仕事が援助職であったり、業務で援助する立場が多い人ほど、自分自身のクライアント経験が必要だということです。実習や実際の場面でクライアントである自分は、「また、理解してもらえなかった。言わなければよかった。」「これは通じないようなので、この程度の話にとどめておこう」をたびたび体験しています。そう、クライアントは、カウンセラーの一言に大きく傷つくこともあり、またカウンセラーの力量を値踏みし「理解しそうな範囲」で話をするサービス精神もあるということです。これらの体験から学んでいることを大事にして、精進の7ヶ月間は続きます。

(田崎 悦子)

◆学会・関連団体の情報コーナー◆

○中央労働災害防止協会（中災防）

全国産業安全衛生大会が札幌で開催されます

日時：10月22日～24日

詳細は中央労働災害防止協会のホームページをご覧ください。

<http://www.jisha.or.jp/>

リラックス
タイムコラム
23

カウンセリングとのcollaboration

北海道らしいよい気候になりましたね。いかがお過ごしでしょうか？最近、私にとっての新しい分野？に足を踏み入れました。やってみて思ったことは「これはカウンセリングと組み合わせることでお互いにより効果をだせるのでは？」ということです。もう、ご存知の方も多いと思いますが、ここで紹介します。

アロマテラピー

植物からとれるさまざまな精油（エッセンシャル・オイル）をマッサージなどにもちいて、その香りと薬効成分を心身の健康や美容に役だてること。日本語では芳香療法と訳される。広義には、よい香りによって鎮静、興奮、覚醒（かくせい）などの作用をひきだし、緊張をやわらげ、おちついた幸せな気分にするのもさす。

歴史は古く、あのエジプトでミイラの防腐処理にも使われていたとか。最近は様々な精油が市販されていてより身近になっています。疲れたときや気持ちが沈んでいるときに好きな音楽をかけたり、好きな絵や映像をみたりしますよね。そのときに、「香り」を加えるのはいかがでしょうか？やはり「五感」にうったえるものはパワーがありそうな気がします。自分がリラックスするためにはもちろんですが、たとえば「相談ルーム」にもふわっと立ち上る香りがあると心の中を開きやすくなる・話しやすくなるなどの効果があるのでは…。

精油をキャンドルの炎で温める・電気で温める・お風呂に入れる・染込ませるなど、香りを楽しむ方法はたくさんあるようです。この季節、自然の中で深呼吸をすると開放感がありますよね。そんな「気持ちよさ」を部屋で感じられるとしたら、ステキです。



カラー

実は「イメージアップレッスン」を受けました。（カルチャーセンターの講座なのですが…）他の人の「ステキ」なところと「もっとステキになるためにどうしたらよいか」をみんなで書き出すというものです。

自分では思ってもいなかったことを「ステキ」と言われ驚いたり、「もっと…」のアドバイスでなるほどと納得したり人の目を通した自分を知るよい機会でした。

さらに先生に自分に似合う色を診断してもらい、カラーチャートを作りました。「ここ一番」に着る色や、相談に乗るときに着る色など…。香りと同じように「色」でも癒しを与えたり、信頼感を与えるということがわかりました。招き入れた部屋の色で、こちらの気持ちが相手に伝わるのだとしたら…これもまたステキですよ。相手に伝える手段は言葉だけではないと実感です。

その先生の本が「パワーカラーマジック」です。（MG BOOKS MASHIRO 著）

ストレスの多い現代社会で心身ともに健康であるためには、自然からのエネルギーがかかせないのだと強く思う今日この頃です。

行事等のお知らせ

研 修

シニア研修

「キャリアカウンセリング」(M0300)

日 時：8月3日(日)
場 所：かでの2.7 (310会議室)
講 師：井田 喜治 (当協会理事)
定 員：20名
受講費用：13,000円
申込締切：7月10日(木) —締切ました—

「ライフサイクルと発達課題」(M1400)

日 時：9月13日(土)
場 所：かでの2.7 (1010会議室)
講 師：清水 信介 (北星学園大学教授)
定 員：30名
受講費用：13,000円
申込締切：8月22日(金)

「アセスメント」(M1300)

日 時：9月14日(日)
場 所：かでの2.7 (310会議室)
講 師：森 伸幸 (北海道医療大学心理科学部講師)
定 員：30名
受講費用：13,000円
申込締切：8月22日(金)

会 員 研 修

「カウンセリングとユング心理学 (Ⅱ)」 4回シリーズ

日 時：8月12日(火) 18:30~20:30
場 所：かでの2.7 (1040会議室)
講 師：清水 信介 (北星学園大学教授)
定 員：40名
受講費用：1,000円
申込締切：8月1日(金)

「カウンセリングとユング心理学 (Ⅲ)」 4回シリーズ

日 時：10月14日(火) 18:30~20:30
場 所：未定 (次回すざらんにてお知らせ致します)
講 師：清水 信介 (北星学園大学教授)
定 員：40名
受講費用：1,000円
申込締切：10月3日(金)

「認知行動療法 概論 (旭川市)」

日 時：10月4日(土) 13:30~16:30
場 所：ときわ市民ホール (予定)
旭川市5条通4丁目
講 師：坂野 雄二 (北海道医療大学教授)
定 員：20名
受講費用：2,000円
申込締切：9月24日(水)

「認知行動療法 概論 (札幌市)」

日 時：11月9日(日) 9:30~12:30
場 所：札幌サンプラザホテル
講 師：坂野 雄二 (北海道医療大学教授)
定 員：30名
受講費用：2,000円
申込締切：10月28日(火)

「認知行動療法 ステップアップ講座 (札幌市)」

日 時：11月9日(日) 13:30~16:30
場 所：札幌サンプラザホテル
講 師：坂野 雄二 (北海道医療大学教授)
定 員：30名
受講費用：2,000円
申込締切：10月28日(火)

キャリア・コンサルタント

「キャリア・フォローアップ講座」

対 象 者：産業カウンセラー資格を持ち
且つ、既にキャリア関連の資格を
取得している方
及び資格取得希望者
日 時：8月2日(土) 13:30~17:30
場 所：かでの2.7 (920会議室)
講 師：井田 喜治 (当協会理事)
定 員：40名
受講費用：4,000円
申込締切：7月22日(火)
※会員研修申込書にてお申し込み下さい。

編 集 後 記

今回は通常総会が6月末に行われた為、日程の都合上発行日が遅れましたこと、お詫び申し上げます。